

## 子供の病気やケガ予防と応急手当

R4.6.7 婦人防火クラブ荒巻支部定期総会での配布資料です。ご活用ください。

◆「子供の心停止の予防」の第一は不慮の事故防止をすることです。

### ◎心肺停止に直結する可能性の高い病気や事故

- 乳児突然死症候群(SIDS)・・・横綱千代の富士のお子さんになくなった原因です。うつぶせ寝や母親の喫煙、男児に多いことが分かっています。6千人に一人の確率、2～6ヶ月が好発年齢。  
→ うつぶせになっても顔が埋まらないよう、赤ちゃん専用の硬い敷き布団で寝かせましょう。
- 溺水・・・・・・バケツ 1 杯の水でも溺れます。浴室に施錠をする。残り湯を大量に貯めない。親が洗髪中でも危ない。洗濯機周囲に足場を置かない。
- 転落事故・・・ベランダなどに足場となるものを置かない。頭が重い(大きい)ので、下をのぞき込んでいるうちに頭から落ちてしまいます。エアコンの室外機が足場になることも。
- 交通事故・・・車のチャイルドシートは、必ず正しく着用。膝の上に座らせていて事故にあった場合、子どもが窓ガラスを割って飛び出します。自転車のヘルメットも必ずしましょう。

### ◎主な病気やケガの予防法・対処法

- 発熱・・・・・・首やわきの下を冷やす。解熱剤をむやみに使い過ぎない。低体温注意。
- けいれん・・・発熱に伴うものは一時的なことが多い。四肢がガクガクする。  
親が焦らない。口に物を詰めようとしない。(昔の常識では、舌をかまないように口に物を入れるのが普通でしたが、舌は噛みません！)  
けいれんの形、時間が大事。熱がない、片側だけ、腕だけのけいれんは注意。
- 熱中症・・・・こまめな水分補給(塩分も糖分も)、こどもは熱中症になりやすい。炎天下以外でも高温多湿の体育館などで発症する。首やわきの下の大きな血管を冷やす。(おでこに貼るシートは、即効性はありません) 水分を噴霧してうちわで扇ぐ。
- 誤嚥・誤飲・・・4cm以下の物を地上 1m以内に置かない。錠剤、ボタン電池、ピーナッツに注意。  
頭を下にして背中を叩く。指で押しこまないように注意。  
吐かせてはいけないものもある。飲んだものを病院に持参する。  
新型洗剤をかじって中毒になる事例もある。
- やけど・・・・熱いものは全て危険。母親の家事の最中に起こりやすい。テーブルクロスを引っ張って味噌汁をかぶる。  
流水を貯めて冷やす。シャワーを活用する。水泡は破らない。低体温注意。
- 頭部を打った・・・意識消失の有無。その後の観察で目がうつろ、元気がない、はきけ、嘔吐は注意。
- 鼻血・・・・・・圧迫止血。冷やす。座らせて前かがみにする。血は飲ませない。
- 家具の角・・・頭を打つ可能性のある家具の角をソフトにカバーする。
- 転倒・・・床、滑るマット、ビニール袋、電気配線、滑り止め金具。箸を持つての転倒で口や顔を刺す。
- 打撲・捻挫・脱臼・・・・安静、冷やす。腕を引っ張って注意しない。(肘の脱臼)

■宮城県子ども夜間安心コール 毎日午後 7 : 00 ~ 翌日午前 8 : 00

15 歳未満のこどもの医療相談、応急手当の助言

☎022-212-9390 または ☎# 8000

■仙台市夜間休日子ども診療所 仙台市急患センター小児科(あすと長町の市立病院 1 階)

平 日 : 午後 7 : 15 ~ 翌日午前 7 : 00

土曜日 : 午後 2 : 45 ~ 翌日午前 7 : 00

日・祝 : 午前 9 : 45 ~ 12 : 00

午後 1 : 15 ~ 5 : 00 午後 6 : 00 ~ 翌日午前 7 : 00